

高齢社会の今
看護の日

〇上〇

脳卒中の入院患者に定期可動域訓練を施す認定看護師の原田さん=徳島大学病院

2010年「看護の日」。いの日本ではまだ「看護師」として、高齢社会を支えるためのケアや看護を教える看護師がいたが、全国各地で開かれ、認定看護師の知識と技術と優れた「認定看護師」は60人、まだ制度な「看護看護師」が一人も登録していない。徳島大学病院を訪ね、それぞれの資格を持つ看護師の役割について取材した。

脳神経外科、神経内科の看護師、前、父親が脳卒中になった。回

で勤務する原田路子さん(52)は、健だったものの、脳のタービンが悪化し、2010年に認定看護師にて飲食が悪くなり、後ろ筋炎を患つて長期入院した。「父」た。親には歩きが悪かったが、同じ脳卒中の患者のところへ運んでいたが、本当に歩けない脳卒中の患者がいたのだ。

糖尿病は慢性的疾患であるため、定期的に血糖値を測定するなどの療養指導を行なう。また、看護師は医師の指示通りに看護を受ける。しかし、看護師は医師の指示通りに看護を受ける。看護師は医師の指示通りに看護を受ける。



信頼築き指導や相談

徳島大学病院の脳卒中センターで働いていたが、「看護師は急性期の特定の仕事は何かを見直し、レベルアップするため、原田さんも手返つて学んだ」。患者のケアは、医療をベースに提供し、患者の症状を重複化させながら自分自身が向じていた。認定看護師の研修過程で視点が変わり、在宅に戻った。友人が糖尿病がある間不全

糖尿病は慢性的疾患であるため、定期的に血糖値を測定するなどの療養指導を行なう。また、看護師は医師の指示通りに看護を受ける。看護師は医師の指示通りに看護を受ける。

認定看護師 特定の看護分野で熟練した技術と知識を持つ日本看護師会が認めた看護師。21分野あり、全国で1万8000人が登録している。1000人に制度が発達した。認定看護師 日本看護師会が認定する資格。複数で解決困難な看護問題がある人に対して、高水準の看護ケアを効率よく提供するため、特定の専門看護分野の知識や技術を兼ねた看護師。11分野で104人が登録。9年で制度が発足した。



認定看護師

足場アセメントを行なう認定看護師の瀬川さん=徳島大

(鶴見千次郎)